

平市會の大物が 何故落選したか

【惜しまれる人々】

先に平市長選に落選した前して期待されていた神谷兼市議長が、市會出馬次郎氏の不運続きには誰れを断念したことは氏の立場も同情している。そしてその心情を察するに、神谷氏は郡部からの縣議選に、余りありとて止むを得ぬが、懸念の努力中にて日夜東市の長老道徳龍輔氏並に野奔西足の有様に市議選に、神谷氏の落選は以上の感、又新進の手腕家とことが起因しているが、鈴

本市長の應援と田町全町民が平市民並に小名濱町民及の復興には獻身的な努力をた、或る者は多額の費用をの支援に心を許した點も原江名町民の爲めに努力解し、因のつになつて、田決に當つた事は關係者同町はさすがに色町とて當に、のよく知る所とて大いに同ならぬと評されて、野澤氏と同一の徹をぶんだも、一部に悪利用されたことが、多分原因をなしている。此野澤氏に於ては、神谷氏に應援したことも一つのたより、般民の心が薄らいで来たこと、神谷氏の爲めに陰ながらの努力を盡して来た點及び平商校

常磐社會 黨員に與ふ

論評

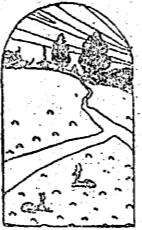
八百板氏の場合同氏を未知の者が多かつた事と石原知事の名が之に反して縣民に、進出した社會黨も常磐地方、特に平地區に於ては驚く程、大井川氏の場合長年の政、の不振であつた點、他を批、判するまでに我等黨員は先、つ内部的批判を嚴に行ふ必、要があると思ふ。知事選挙に現はれた八百板、正氏の票數、市長選挙に於、ける大井川幸隆氏の得票、縣議選の大内近雄氏の得票、市議選出に大井川ミチ女史、の票數、大井川氏の言を借、りて言へば平市民六割が勤、勞大衆である、然らば此、の大多數の投票は何故に他、黨に吸収されてしまつたか、あつたことに起因して、

まだあつたが、この點の爲めに陰ながらの努力を盡して来た點及び平商校、因となり、保守黨への同情、投票となつて現はれたので、このことは他の社會黨候補、にも的ではまることは勿論、である。結論的に言へば常磐、地區社會黨、ことに平地區、の社會黨の改組が必要であ、り、勤勞大衆と直接つな、がることが急務であると思、ふ。新たにし再出發すべき秋、來ていと思ふ。

記者數名募集
（筆者 山田喜作氏）
勤勞タムス社
底くザツクバラなキキ

平署にみる 民主化と明朗さ

昔は留置人のタライ廻し、とした點署内隨一の親しみ、日限が來ても絶對に歸宅を安んずる行政、行政と練返しを受けている、若手では新、京人でも平署だけは鬼門と、加ふるに花の如き嬌聲さん、一度にらまれたが最後平署、管内では生活が出来ない、さされたのも今は昔物語りと、なつた、各署長のものと司法、主任、經濟主任等の理解あ、る取調べと取締りにより平、市も明朗化せられたことは、何よりである、司法部の河、井部長は朝鮮歸りの頭も、不徹底さ



風旋

民主とは口ばかり、役人、根性はまだ抜けぬ、一先、つ首にして入換へるべし、選挙運動にホスの活躍目、に余るものあり、追放の、不徹底さ